

第 4 学 年 道 徳 科 学 習 指 導 案

4 年 1 組 指 導 者 森 重 孝 介

題 材 附 属 幼 小 中 で 育 て た い 心 ～ よ り よ い 友 だ ち と は ～

1 題 材 に つ い て

本学級の子どもたちは、友だちについて「助けてくれる」や「分かってくれる」などの存在であると捉えている。そのような子どもたちが、たとえ友だちであっても、友だちの間違いを伝えるべきか、伝えないべきかということについて考える。このことは、よりよい友だち関係についての考えを深めることにつながるであろう。

本時は、内容項目 B「友情、信頼」に基づく。子どもたちが、友だちについての道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めることをとおして、よりよい友だち関係を築こうとする心情を養う学習である。よりよい友だち関係について考える際には、仲間や教材などと向き合うことをとおして、これからの友だち関係についての考えを深めていくことができるようにしたい。本教材「絵葉書と切手」は、ひろ子に友だちの正子からの絵葉書が届いた場面から始まる。絵葉書を兄が受け取る際、兄はゆうびん屋さんに不足料金を渡す。「未納不足 70 円 松本局」と書かれたゴム印を見ながら兄は、ひろ子に「友だちなら、定形外のこと教えてあげた方がいいんじゃないか。」と言う。しかし、本当のことを伝え、正子が嫌な気持ちになったらと思うと、ひろ子は困ってしまい、母親に相談する。母親は「お礼だけ書いた方がいいかもしれないね。」と言うが、兄は「ちゃんと言ってあげた方がいいんだよ。それが友だちというもんだよ。」と言う。2 人の言葉にひろ子は迷いながら、「正子なら、わたしの気持ちを分かってくれる」と返事を書き始めるのである。子どもたちは、「友だちだから本当のことを伝えた方がよい」と考えるであろう。しかし、「友だちだから伝えるににくい」と考える子どもがいることも想定される。だからこそ、問題を自分事として捉え、仲間と話し合うことをとおして、よりよい友だち関係についての考えを深めていくことができるようにしたい。

そこで、以下のような支援を具体化する。

- 「友だちだから伝えるににくい」と発言する児童を見取った際、同じような思いや経験をしたことがないか問い、交流するよう促す。そうすることで、問題を自分事として捉えることができるようにする。
- 人物の行為などについて比較する問いをしたり、意見をもとに問い返しをしたりした後、交流するよう促す。そうすることで、自他とのかかわりの中で友だち関係についての考えを深めることができるようにする。
- 導入と終末で「友だちとはどのような人ですか」と同じ発問をし、友だちについての考えを板書する。その上で、「あなたが友だちについて、これから一番大切にしたい考えはどれですか」と問い、振り返りを書くよう促す。そうすることで、「友だちについて」の振り返りを自分事として捉え、これからの自分について考えることができるようにする。

2 評 価 の 視 点

- (1) 友だちに伝えたいけれど、友だちだからこそ伝えるににくいという思いを理解しているか。
- (2) 今までの「助けてくれる」友だち関係についての一面的な見方が、授業をとおして「理解し合う」「信頼する」などの友だち関係についての見方に広がっているか。
- (3) 友だち関係から起こる問題やよりよい友だち関係についての考えを、自分事として捉えようとしているか。
- (4) よりよい友だち関係について、今までの自分を振り返り、これからの自分について考えようとしているか。

3 本時案 【平成29年11月24日 9:30 ~ 10:15 中学校3年D組教室】

(1) ねらい ひろ子の正子に対する思いについて話し合うことで、よりよい友だち関係を築こうとする心情を養う。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 今までの友だち関係について考える (5分)</p> <p>学習内容 ・友だち関係についての捉え</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちって助けてくれる存在だよ。 	<p>○「友だちだから伝えにくい」という発言を見取った際、同じことがないか問い、交流するよう促すことで、問題を自分事として捉えることができるようにする。</p>
<p>② 教材文を読み、よりよい友だち関係について話し合う (30分)</p> <p>学習内容 ・友だちだからこそその悩み ・友だち関係についての理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ひろ子さんと正子さんは、とても仲がよいのだね。 仲がよいから、本当のことを伝えようか迷っているのか。 <p>B 僕だったら、嫌な気持ちにさせたくないから、伝えられないよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> でも兄は、「言ってあげたほうがいいんだよ」と言っているよ。 <p>本当のことを伝えようとするひろ子さんと伝えないひろ子さんの違いは何ですか</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝えるとひろ子さんは気持ちがすっきりするけれど、伝えなかったら、もやもやした気持ちが残ると思うよ。 自分のためにすっきりするのではないよ。正子さんのことを本当に考えて伝えようとしたのではないかな。 伝えないと、正子さんは間違えたことに気付かないよね。 <p>A 伝えないと、正子さんは間違えたまま、他の人にも絵葉書を送ってしまうよ。それは本当の友だちとは違うと思うよ。</p> <p>B でも伝えたとして、友だちでなくなってしまうらどうしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> それは大丈夫だよ。二人は分かり合えているのではないかな。 そう思ったからこそ、ひろ子さんは迷いを乗り越えたのだね。 <p>B すごいなあ。友だちのことを本当に分かっているから伝えることができるのだね。</p> <p>A 「分かってくれる」と思うほど、正子さんを信頼しているのだね。友だちだからこそ、そういう思いが生まれてくるのだよ。</p>	<p>○人物の行為について比較する問いをしたり、意見をもとに問い返しをしたりした後、交流するよう促すことで、自他とのかかわりの中で友だち関係についての考えを深めることができるようにする。</p> <p>○導入と終末で同じ発問をし、意見を板書した上で、「これから一番大切にしたい考えはどれですか」と問い、考えを書くよう促す。そうすることで、振り返りを自分事として捉え、これからの自分について考えることができるようにする。</p>
<p>③ よりよい友だち関係について考える (10分)</p> <p>学習内容 ・よりよい友だち関係についての考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちだから、相手の間違いを伝えることができたのだね。 離れていても相手のことが分かるのは、友だちだからだよ。 <p>B 友だちってすてきだね。僕もそういう友だちをつくりたいな。</p>	

4 板書計画

